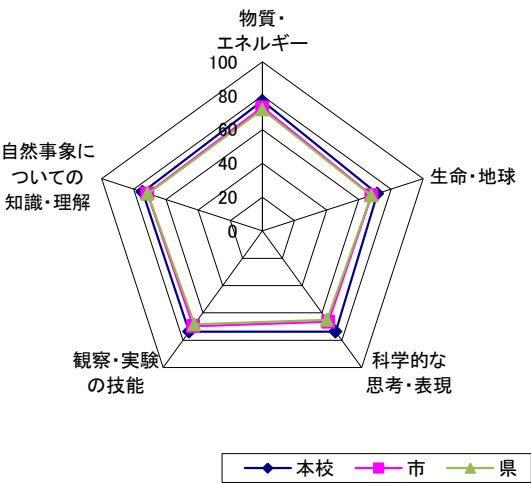


宇都宮市立石井小学校第4学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	77.0	73.1	71.8
	生命・地球	71.5	67.9	67.8
観点	科学的な思考・表現	73.7	66.5	65.0
	観察・実験の技能	73.8	69.7	68.4
	自然事象についての知識・理解	74.5	71.6	71.4



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	○豆電球と乾電池が導線でつながって電気の通り道になることを回路ということなど基礎的な知識は身に付いており、ソケットのない豆電球でも導線の正しい接続の仕方を考えることができる。 ○物は形が変わっても重さが変わらないことや、材質によって同じ体積でも重さが異なることを理解している。 ●銅の性質についての理解が十分でない児童もいる。	・金属は電気を通すが、磁石に引き付けられるものは鉄だけであることを鉄でできているくぎとアルミ缶や一円玉などと比較させる実験に取り組ませ、実感を伴った理解を図る。
生命・地球	○身の回りにある花のようすや、目的に応じた観察カードの書き方を理解している。 ○日なたの地面のようすや地面の温度の測り方を正しく理解している。 ●身近な自然を観察する時の虫めがねの使い方や、方位磁針の正しい使い方が十分には理解できていない。	・虫めがねの使い方は個人の感覚で使用していることがあるため、教師が手本を示して理解させ、全体で練習した後身に付いていない児童に個別に指導していく。 ・方位磁針は、N極が指し示す方向が北になることを確認し、実際にN極に「北」を合わせる活動を繰り返し行って技能を身に付けさせる。